

第12回水景フォトコンテスト テーマ「夏の水景」2018年 審査結果発表

今年も夏の水景コンテストにたくさんの写真をお寄せいただきました。ありがとうございます。
一点一点、丁寧に拝見し、4点の作品を選びました。

最優秀賞「秘密の抜け道」河内聡さん撮影



最優秀賞は河内聡さんの作品「秘密の抜け道」です。トンネル状の噴水の中を女の子が通り抜けている様子が撮影されています。水の表情が美しく、面になり点になり曲線的であり変化に富んで画面全体でバランスがとれています。水だけでなく女の子も動いていますが、駆けてふわりと飛んでいる瞬間を撮影しています。女の子がどこへ行ってしまうのかと、ふと思ってひき込まれます。
BGMは「夢の中へ」でしょうか。

準優秀賞「輝く夏」森健士さん撮影



準優秀賞は森健士さんの作品「輝く夏」です。穏やかな自然の風景の中に堂々とした噴水がある美しい風景です。青い色調にトーンが揃っていてシルエットだけで山々や松の木、男性、女性が見てとれます。噴水のひとつひとつはシルエットになっている人物よりも高さがありその影の形もくっきりしています。夏の日らしいコントラストの強さの中で噴水の透明感が際立っています。

佳作「きらめきを見つめて」 馬場歩さん撮影



馬場歩さんの「きらめきを見つめて」は噴水の水を熱心にくっつけている女の子の写真です。女の子の目にぴったりとピントが合っており、タイトル通り「見つめて」いる感じが伝わってきます。水玉は柔らかく写っており、小さなシャボン玉のようにも見え不思議な雰囲気があります。背景はぼかして女の子を際立たせています。ポイントをしっかり絞って、画面を整理して撮影していらっしゃいます。

佳作「夏の夜」 高橋秀治さん撮影



高橋秀治さんの「夏の夜」は水に足をつけている女性を撮っています。夜の撮影なので露光時間がすこし長いようです。水の流れが白く写り、背景を歩く人々の姿も動いていますが、女性だけは動かずに自然な雰囲気で物思いにふけっています。夜なのに全体的に明るく、女性の足につけている水滴までクリアに写っていて画質が高いです。

今後さらなる意欲作を楽しみにお待ちしております。

(フォトコンテスト係)

今年もたくさんの作品をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

夏の暑さの異常さもまして、天気予報などでも「不要不急の外出は控えるように」等と注意されるほどです。そんな酷暑の中ですが涼を求めて様々な場所で繰り広げられている瞬間をカメラに収め、暑さにも負けずに楽しんでいる様子や思わぬ瞬間、ありふれたようでもレンズを通して切り取られてみたら思いもよらぬ世界が垣間見えたような作品に触れられて、選考する側もとても楽しく作業をさせていただきました。改めて御礼申し上げる次第であります。

さて、ここ数年ですが「夏の水景」というテーマがやや拡大解釈されている傾向が見られます。

これは選考する私どもにも多分にあったように思えます。「夏の水景」というテーマは、「夏」の「水景」に関わる写真ということです。この「水景」というのは、募集要項に真もありますが、噴水、滝、せせらぎ、流れ、鑑賞池などの人工的に造られたものです。海、川などの自然的なものは含みません。湖から上がっている噴水は人工的に造っているのもまさに水景です。

ありがちなのは遊泳プールで遊んでいる子供たちの写真ですが、残念ながらこれだけではテーマからずれているということになります。着物を着た女性の打ち水も水景とはいえません。

今回、「水景」という原点に改めて立ち戻り審査させていただきました。

また、応募数の増加やこのコンテストの発展の一段階として僅かではありますが、賞金額を増額いたします。

次回より、最優秀作品5万円、優秀作品3万円、佳作1万円となります。

他にはない「水景」というカテゴリーのコンテストです。水景の持つ魅力、楽しさ、美しさ、そこに集う人々や動植物などの自然も交えた憩いや潤いなどが写真を通して多くの皆様にお伝えできるよう努めて参りたいと思います。

どうぞ今後ともふるってご応募のほどよろしくお願い申し上げます。

2018年10月吉日
株式会社ドゥサイエンス
代表取締役 香取良一